

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1989 4・5



「'89デザイナー」 4月1日スタート

デザイナーが、いよいよ4月からスタートしました。石川六郎日商會頭を會長に、89人の各界有識者による「'89デザイナーフォーラム」を母体に、事業が展開される。

去る3月20日、日本プレスセンタービルでの記者説明会では報道関係多数を前に、その全容発表されました。

① '89デザイナーフォーラム事業

① 日本デザイン賞

デザイナーの中核的事業。

デザインマインド豊かな事物(モノ、コト)を社会のすみずみから発掘し、顕彰することにより、デザインの果たす役割の重要性の認識を広く一般に普及し、デザインの社会的、経済的意義を明らかにする。

② デザインワークショップ ― 地域別デザイン研究会

新たな地域のグランドデザイン形成へ向けて、デザインが取り組むべき課題を研究する事業で、新たなデザイン振興基盤の醸成を目指し、それぞれの地域特性に基づいたテーマの下に実施する。

③ 青少年デザイン提案コンクール

豊かな発想を有する青少年の大胆な生活提案を通し

● '89デザイナーについて	1
● 63・第5回理事会議事録	3
● 63・第6回理事会議事録	6
● 第13回IFI会議ベルゲンに代表団を派遣	11
● 「JID30記念事業」発進中	12
● 「インテリアデザイナーズ・デイ IN NAGOYA」	12
● 1989年度文芸美術国保案内	16
● 消費税関連のお知らせ	16
● 会員の消息	18
● 事務局入局にあたって	21
● 新入会員の紹介	22
● 事務局短信	28

て、デザインの重要性と生活への関わりの具体的な認識を普及することを目的に昭和63年度より実施。平成元年度は、昭和63年度中に選定された入選提案を具現化したモデルとパネルを作成し、全国的に展示会を展開する。

② 上記の3事業のうち、特に『日本デザイン賞』について掲載いたします。

『日本デザイン賞』制定

『日本デザイン賞』は、既存の表彰制度のように単に最も優れたデザインを表彰しようという事業ではない。むしろ、社会のすみずみからデザインマインド豊かな事物（モノ、コト）を発掘し、その事例をもって、一人一人の生活の中でデザインが欠かせないという認識を醸成、普及しようとする事業である。

工業製品や衣服等モノの分野で「デザイン」が重要であることはいうまでもない。しかし、こうした身近な分野以外では「デザイン」が不要というわけでは全くない。例えば、空港や駅には、使う人、見る人の立場に立った案内システムの「デザイン」が必要であるし、また、地域コミュニティの形成を目指した施設には周辺環境との調和を考慮した「デザイン」が必要である。これからは、高齢者その他ハンディキャプトも楽しく住める「デザイン」的配慮がなされた集合住宅も必要であろう。すなわち、「デザイン」が関わりを深めるべき分野は実に広範囲にわたってきているのである。

『日本デザイン賞』は、日ごろ「デザイン」という言葉で語られなかったものまで含め、デザインマインド豊かな事物（モノ、コト）を全国の「日本デザイン賞推薦委員」を通じて発掘し、顕彰することにより、このような「デザイン」の重要性と社会的、経済的意義を明らかにし、「住み心地の良い」日本を造る一助としようとする事業である。

なお、表彰および結果発表については、平成2年3月、'89デザインイヤーフォーラムにおいて行なう予定。

実施概要

1. 名 称…………『日本デザイン賞』
2. 表彰主体…………'89 デザインイヤーフォーラム
3. 後 援…………通商産業省、建設省、運輸省、

外務省、文化庁

4. 表彰対象……………快適で潤いのある生活の実現を目指し、日本国内で実現された事物（モノ、コト）で、デザインイヤー期間中に成果が継続しており、かつ今日的意義を充分持ちうるものの。

実施内要

1. 「日本デザイン賞推薦委員」の委嘱

全国の自治体、経済団体、デザイナー団体、教育機関、報道機関等の関係者および有識者等を「日本デザイン賞推薦委員」（約200名）に委嘱する。推薦委員に「推薦要領」を配布する。

2. 推薦期間

推薦期間は、平成元年6月上旬から9月末日までとする。推薦委員は、表彰対象となる事物を収集し審査委員会に対し推薦する。

3. 調査・確認

「日本デザイン賞調整委員会」は推薦委員から推薦された対象のうち、必要と思われるものについて、調整・確認を行い、審査員に提出する情報を整備する。

4. 審査

「日本デザイン賞調整委員会」は推薦された対象を「日本デザイン賞審査委員会」（委員長 天谷直弘 国際経済交流財団会長、副委員長：白根 禮吉（財）電気通信科学財団理事長）へ報告する。日本デザイン賞審査委員会は「日本デザイン大賞」、「日本デザイン賞」および「奨励賞」を決定する。

5. 表彰および結果広報（平成2年3月）

'89 デザインイヤーフォーラムにおいて、審査結果を公表するとともに、報道機関等の協力を得て、成果を一般に公表する。また、記念出版を行なう。

「'89デザイン イヤー」についての詳細はJID 事務局（03-403-3649）のほか、下記にお問合わせ下さい。

'89デザインイヤーフォーラム事務局

〒105 東京都港区浜松町2-4-1

世界貿易センタービル別館4F

（財）日本産業デザイン振興会内

Tel 03-435-5626 Fax 03-432-7346

担当 : 佐久田、江崎

63・第5回理事会議事録

1. 日 時 平成元年1月25日(水) 15:00～18:40
2. 場 所 J I A 3 階 会議室
東京都渋谷区神宮前2-3-16
建 築 家 会 館
3. 出席者 (別掲の通り)
4. 議 題

I. 議 案

第1号議案 平成元年度 総会準備について

第2号議案 新選考委員 承認の件

第3号議案 人事承認の件

①第14回IFI通常総会派遣人事の件

②IFFT'89特別展示運営委員委任の件

③新事務局長候補の採用と条件について

第4号議案 記念事業基金募集の件

第5号議案 借入金承認について

第6号議案 協賛・後援名義承認の件

第7号議案 入会承認の件

第8号議案 雑 件

①基本理念(修正案)決定

②会印規程(案)

③委員会費改廃、弔慰金金額改訂

④新年号(平成)の取扱いについて

⑤臨時休業の件

⑥事務局員(アルバイト)の採用について

第9号議案 議事録署名人の選任について

5. 議 事

はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり、報告事項より審議に入る。これに先立ち、山品事務局長より「理事総数15名中、理事15名(本人出席13名、委任状2名)で本理事会は成立した」旨、定数報告がなされた。

また、滞米を終え、帰朝した山内理事からも特に発言があり、海外事情の報告が行われた。

第1号議案 平成元年度 総会準備について

議長は、資料に基づき昭和63年度事業推進について事務局長に概況説明を求めた。

事務局長は、事業報告(案)につき、その概要を説明した。また、内容について修正箇所等があれば、近く開催予定の、「合同運営会議」迄に指摘、修正を加えられたい旨、担当理事に要請した。議長は本記につき諮った。理事会はこれを了承した。

第2号議案 新選考委員 承認の件

議長は提出資料の説明を事務局に求めた。宇塚嘉寿選挙管理委員長に代り、事務局長が選挙結果につき「JID月報1989 12月号」を読み上げ報告した。即ち、渡辺優のほか、川上信二、三輪正弘、中村圭介、白石勝彦、泉修二、山品元、喜多俊之、光藤俊夫、松本哲夫(以上10名、得票順)の当選である。

議長はこれを諮り、理事会は承認した。

第3号議案 人事承認の件(3件)

①第14回IFI通常総会派遣人事

毎回、JIDでは、IFI総会に代表団を派遣して来たが、本年はノルウェー、ベルゲン市で来る5月23～24日の両日、会議開催の予定となっている。理事会は派遣人事について慎重審議の結果、理事クラス1名を含む3名程度とし、具体的人選は国際委員会に付託するとの結論となった。尚、旅費等の支弁は前回第13回アムステルダム会議出席の例にならい、原則として会計細則第3条4項を適用する。以上、理事会は決定した。

②IFFT'89特別展示 運営委員委任の件

IFFT'89(東京国際家具見本市)主催団体である(社)国際家具産業振興会より、表題のように三輪正弘氏に非公式の打診がある。これについて議長が経緯を説明した。また、榎田監事からも説明があった。共同事業委員長在任のままのプロデューサー受託に三輪氏が難色を示している点を榎田監事が更に補足した。川上、川崎、山品他の理事より意見が出された後、議長はこれを諮った。理事会は同氏の委任を了承した。

③新事務局長候補の採用と条件について

かねてより打診中の後任事務局長候補として、野村禮七郎(60)氏が、山品事務局長より紹介された。議長が補足を行い、採用と条件について提議した。

即ち、採用は5月1日付とし、2月～4月の3ヶ月は就業規則により試傭期間とする。その間の、勤務条件、待遇はご本人の希望も斟酌した事務局試案通りとする。

また、本採用後については、平成元年度予算編成とも関連するが、初年度でもあり、63・第1回理事会資料を参考にして年俸を決定する。

以上、議長これを諮った。異議なく承認された。

第4号議案 記念事業基金募集の件

議長より提案主旨について説明がなされた。特に、時期については、基金募集の計画は昭和63年度事業に位置づけられている所から、3月末までにはぜひとも個人会員にカンパを呼びかけたい、旨の発言があった。また、同時にこの際、多事多端の折でもあるが、役員各位には積極的に拋出方協力を願いたい、と結んだ。1口5,000円及至10,000円等の案が出たが、理事会は1口10,000円が妥当であろうとした。基金募集の具体的時期、方法等については財務委員会で決定、実施することを理事会は決定した。

また、別件ながら創立記念式典（5月開催）当日の記念講演会、講演者の人選について、議長は特に発言を求めた。即ち、現在総務委員会で複数の打診を進行中であるものの、人選、予算等再考すべき点がある。殊にこの種の予算立案については公益法人としての立場を矜持しつつ、折衝打診することが肝要である。以上について、理事は各々の意見を述べた。理事者の過半は渡辺議長に賛同し、理事会の意向を総務委員会に伝え改善を促すこととした。

第5号議案 借入金承認について

議長は提案主旨について事務局長に説明を求めた。事務局長は以下のように内容説明を行った。

「財政逼迫の折、太陽神戸銀行青山支店より300万円の借入をしたい。借入が実現した場合印刷費、支部事業費、管理費の一部の支払いに充当する。

借入時期は1月26日、返済計画は4月末～9月末とし、5ヶ月均等返済。6ヶ月目の9月末の最終返済時に残額清算。借入利息は預金担保、年利2.85%。

また、事業規模の拡大に伴い、借入金限度額を200万円より300万円に増額改訂したい。

借入に当たって事務局では、昭和63年度前例通りで準備を進めている。」

以上につき議長は借入および借入金限度額引上げについて諮った。理事会はこれを承認した。

第6号議案 協賛・後援名義承認の件

議長は下記3件について事務局長に説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明を行ない、実施について報告した。議長は本件について承認を諮った。理事会は異議なく承認した。

- ・第17回「'89国際ホテル・レストランショー」
ならびに
第17回「'89・ホテル・旅館・レストランシンポジウム」
主催 (社)日本能率協会
展 示 会 '89.3.7～11 東京
シンポジウム '89.3.8～10
＜協賛＞
- ・第3回「'89関西国際ホテル・レストランショー」
ならびに
第3回「'89 関西ホテル・旅館・レストランシンポジウム」
主催 (社)日本能率協会
展 示 会 '89 5.16～19 大阪
シンポジウム '89 5.17～18
＜協賛＞
- ・第2回クラフトマンズ横浜
主催 クラフトマンズヨコハマ
('89.1.26～31 横浜)
＜後援＞

第7号議案 入会承認の件

議長は下記8件について事務局長に内容の概活説明を求めた。事務局長は資料に基づき説明した。理事者はそれぞれ資料の審議を行った。

・正会員の入会（6件）

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
伊集院 俊 ^{じゅう たかし}	正 会 員 (準より)	中村 圭介・塩田 一夫
馬場 敏 ^{さとし}	正 会 員 (準より)	渡辺 優・山品 元
安武満智子	正 会 員 (準より)	嶋 佐知子・宮嶋恵美子
前原 紀雄	正 会 員	大野美代子・藤村 盛造
下津浦和子 ^{しもづら}	〃	嶋 佐知子・飯田 公久
松原 文子	〃	川上 信二・岩倉 榮利

・準会員の入会（２件）

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
こふなや 小船谷裕子	準 会 員	林 寅正
葛西紀巳子	〃	嶋 佐知子

第 8 号議案 雑 件（6 件）

① 基本理念（修正案）決定

兼題とされている「基本理念」（修正案）が渡辺私案の形で提出された。前回に比べ、約 160 文字の簡潔明解なものである。これについては本理事会を含め 3 回の継続審議事項ではあるが、中村、三輪、川崎各理事から慎重審議の意見もあり、更に各理事の積極意見を徴して、次回理事会で最優先議案として審議することとなる。

② 会印規程（案）

前理事会、報告事項⑤に関連して、協会の公印である「協会印」と「理事長印」の管理規程及び印彰を鮮明に保持しようとする規程（案）である。以上事務局より説明された。議長は内容と実施について諮った。理事会は異議なく承認した。実施は平成元年度中とする。

③ 委員会費改廃、弔慰金金額改訂

議長は提案主旨について事務局に説明を求めた。事務局は現行の「会計細則」に従って説明を加えた。即ち、委員会費（食費）については本部委員会、支部委員会間の不徹底の他、僅少な金額であること。また、弔慰金については、物価変動による金額の増額である。

以上につき、議長は各理事に対し、委員会委員各位の意見なども求めた上で、次回理事会に諮りたい、との意向を示した。本件は継続審議ということになる。

④ 新年号（平成）の取扱いについて

1 月 8 日よりの年号変更に伴い、平成元年と西歴 1989 年との文書上の慣例が未だ確立されるのにいささか時間がかかると思われる。従って、今後官公庁等公的文書には年号「平成」を用い、協会内部の連絡文書等は西歴「1989」で差し支えない。以上の使用基準が議長より示された。理事会はこれを了承した。

⑤ 臨時休業の件

昭和天皇の「大喪の儀」（2 月 24 日）当日は、外部状況を勘案した上で、臨時休業を検討した。以上事務局より提議された。議長これを諮り、理事会は臨時休業の線を了承した。

⑥ 事務局員（アルバイト）の採用について

議長は事務局に内容説明を求めた。事務局は、業務担当事務量の急増に伴ない、長期アルバイト 1 名の採用を行いたい旨説明した。議長はこれを諮った。結果、①平成元年度に予算措置する。②期間は原則として記念事業終了時までとする。

以上を理事会を承認した。

第 9 号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に泉修二・宇賀敏夫両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

㈱日本インテリアデザイナー協会 63・第 5 回理事会に関し、定款第 28 条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記すため議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡辺 優◎
議事録署名人 泉 修二◎
議事録署名人 宇賀 敏夫◎

63・第 5 回理事会出席者名

渡辺 優, 川上 信二, 中村 圭介, 三輪 正弘, 宇賀 敏夫, 川崎 浩, 森谷 延周, 長岡 貞夫, 白石 勝彦, 富田 卓司, 山品 元, 泉 修二, 山内 陸平
理事総数 15 名 中理事 15 名（本人 13 名, 委任状 2 名）
監事 榎田 均, オブザーバー 坂下 昌

（敬称略・順不同）

次回理事会は 3 月 24 日（金）、東京開催の予定。

6. II. 報告事項

① JID 30 記念事業推進状況

（含、各事業支部関連）

前理事会（63.11.25）以降の、記念事業推進状況について、川上記念事業委員長を中心に報告がなされた。特に、本日（午前 11:00～午後 2:00）理事会に先立って開催の、記念事業委員会での討議事項のうち、展覧会（巡回展）事業と予算案について詳細説明がなされた。

② 第21回通常総会までのスケジュール

平成元年度の通常総会が5月26日(金)に予定されている。事務局(案)としてスケジュール表が提出された。

③ 訃報(2件)

- ・故 狩野雄一氏(名誉理事, 元理事長, 関東)

63.12.25 ご逝去 享年 76歳

- ・故 玉田郁朗氏(正会員, 関東)

63.12.25 ご逝去 享年 66歳

上記2件につき、弔意を表した。事務局より報告された。

④ 薬師神デザイン事務所の「会議室」借用について

前理事会で、白石理事資料により事務局長からの報告事項⑧について、煮つめた点が再度報告された。借用に当たっての留意点、ルールを明文化したものを、各委員会委員長に、事務局より事務連絡し徹底を図る。併せて、JID事務局奥のスペース、関東事業支部トーコーサロン(新宿)についても周知することとする。

⑤ その他(3件)

①「新春交礼会」中止

恒例の、新春交礼会(交流委員会担当)は、諸般の事情により一旦、3月に延期されたが、更に5月ということで事実上やむを得ず中止ということになった。

②「世界デザイン会議」進捗状況

10月18~21日名古屋で開催予定の同会議の地元名古屋での準備と進捗状況が宇賀理事より報告された。

③ IFIの呼称統一について

前理事会での報告事項⑩を受けて、その後のまとめが、資料により森谷理事より提出された。三輪、白石理事他より活発に意見が述べられたが、連合体である組織の実体に応わしい邦訳をとるべきであり、単なる逐語訳では不充分であるとする意見が至当であるとされた。結果、「国際インテリアデザイナー団体連合」に決定した。

以上5件8項目につき渡辺議長が総括のち、①, ②, ④, ⑤①及び③について、理事会はいずれも了承した。(文中敬称略)

63・第6回理事会議事録

1. 日時 平成元年3月24日(金)13:30~19:00

2. 場所 JIA 3階 会議室

東京都渋谷区神宮前2-3-16

建築家会館

3. 出席者 (別掲の通り)

4. 議題

I. 議案

第1号議案 平成元年度事業計画(案)及び予算(案)

第2号議案 JID30事業計画(案)及び予算(案)

第3号議案 昭和63年度収支中間決算承認の件

第4号議案 昭和62年度野口記念事業特別会計収支決算承認の件

第5号議案 人 事

(イ)新名誉会員推挙の件

(ロ)資格変更非手続者(資格消滅)の件

(ハ)会費免除対象者承認の件

第6号議案 協賛・後援名義承認の件

第7号議案 入退会承認の件

第8号議案 雑 件

(イ)基本理念決定

(ロ)委員会費運用について

(ハ)渡航費用について

第9号議案 議事録署名人名選任について

第10号議案 30周年式典に於ける顕彰の件

議 事

はじめに議事につき、議長として渡辺理事長より説明あり、報告事項より審議に入る。これに先立ち、山品事務局長より「理事総数15名中、理事15名(本人出席13名、委任状2名)で本理事会は成立した」旨、定数報告がなされた。

第1号議案 平成元年度事業計画(案)および予算(案)

議長は資料に基づき平成元年度事業計画(案)

予算(案)につき事務局長に説明を求めた。

事務局長はまず、事業計画(案)につき、この計画(案)は2月10日に開催された合同運営会議を経て、3月10日に正副理事長、財務委員長、事務局長で打合せ、修正の上作成したものである。

本年度より「部会」の表現を「事業」とした旨説明

した。例えば国際部会と交流部会は交流事業に含まれる。議長は出席者に意見を求めた。担当理事の意向を加味した上で一部修正しこれを諮った結果、理事会は承認した。

引続き平成元年度予算(案)につき事務局長が資料に基づき概要を説明した。議長は出席者の意見を求めた。主な発言、以下の通り。川崎理事より会費収入の積上げにつき質問があった。

次に泉理事より JID 30 記念事業との関連につき金額修正の要望があった。

山内理事より各事業支部の活動がし易いよう、来年度から支部単位での予算案はどうかとの発言あり、議長は、財務委員会で原案を検討し、理事会で諮りたい旨発言した。

白石理事より交流事業予算について JID 30 事業との関連につき質問あり、事務局長からその根拠を説明した。議長から事務局長と交流事業委員会と煮付める方向が要望された。

議長より管理費の中の退職給与支出について、5月1日付退任予定の事務局長に関し、公務員給与規則に基づき算出したものであり、議長としては適正かつ妥当なものであると判断している旨補足した。それに関連し、白石理事より発言がなされ、退職金とは別に退職慰労金の支給につき提議があった。議長はこれを受け、正副議長で協議の上、金額については付託させて欲しい旨諮り、理事会はこれを承認した。

続いて川崎理事より、収入予算の年会費収入について会員拡大の目標値が高すぎるのではないかと発言あり、事務局長から算出の根拠について説明がなされた。議長から準会員のあり方については、さらに今後の検討課題としたい旨発言があった。

これらに関連して、川崎、大野、森谷、長岡各理事から積極的に意見が出された。

議長は本収支予算の修正を、後日正副理事長、財務委員長、事務局長がまとめることとするが、大枠については本理事会で承認して欲しい旨議場に諮った。理事会はこれを承認した。

ここで議長は、やむを得ない理由から途中で退席しなければならないので順序を変更し、第8号議案を先に審議して欲しい旨発言し、理事会はこれを了承した。

第8号議案 雑 件

(イ) 基本理念決定

議長より第5回理事会の意向により去る3月7日総務委員会、正副理事長で検討した結果、タイトルを「JIDの信条」として原案を作成したので、本理事会で審議決定したい旨発言し、提出資料に基づき審議した結果、理事会は異議なく承認した。

また、議長から今日の諸情勢に対応する理事会の考え方についての10項目が提示されたが今後さらに、総務委員会を中心として内容および表現を検討することとした。

(ロ) 委員会費運用について

本年は JID 30 事業の年に当たり、最近委員会活動が活発に開かれているが、それに伴ない運営費用がかさみ、財政上の逼迫が予想される。総務および財務委員会で早急に検討してはどうかと、事務局長より提議理由の説明がなされた。これに対し議長から差迫った問題なので総務、財務両委員会で検討し、改訂して欲しい旨補足した。

これに関連し森谷理事より、昨年4月より「JID 規定集」の見通しを総務委員会で検討中であるが、金額の見通しは財務にかかわるので、平成元年度に持越し、今後は総務、財務、組織3委員会合同で検討したい旨、発言あり理事会はこれを了承した。

(ハ) 渡航費用について

事務局長より、本年5月にノールウエーで行われるIFI総会出席者3名の渡航費用について、予算額及び会計細則3条4、を勘案し支給決定を行いたい。また3名の配分についても煮つめたい旨の発言があった。これに対し、大野理事他から意見が述べられた。結果、事務局長が配分案を作成し、理事長に了承を求めた上、更に派遣者3名の理解を得ることにしたい旨の提案があり、理事会はこれを了承した。なお、旅行傷害保険についても、公用期間中を対象に JID 負担で加入することが決定した。

本号議案をもって渡辺議長は退席し、以降の議案より川上副理事長が議長となる。

第2号議案 JID30事業計画(案)及び予算(案)

議長である川上記念事業委員長より別紙資料に基づき趣意書の内容説明がなされた。

特に本日の理事会で概要を承認の上、来る4月3日

のプレス発表会に臨みたい旨発言があった。引続き同予算案につき川上記念事業委員長より説明がなされた。

これに対し川崎理事より基金募集について、白石、長岡両理事より国際、交流事業についての予算内容についての意見が夫々出され検討した。

また、事務局長より、一般会計よりJID30特別会計への引当支出金額を確定したい旨発言があった。議長は理事会に諮った。結果1,000万円と決定した。従ってJID30事業予算の支出は当初予算よりの減額分を管理費および予備費で調整することとなった。

議長はJID30特別事業予算についても早急に、正副理事長、財務委員長で最終的にまとめることとし、大枠につき承認願いたい旨、理事会に諮った。理事会は異議なくこれを承認した。

第3号議案 昭和63年度収支中間決算承認の件

議長は資料に基づき昭和63年度収支中間決算につき事務局長に説明を求めた。

事務局長は、平成元年2月末日現在の内容について説明した。

議長はこれを諮った。理事会はこれを承認した。

第4号議案 昭和62年度野口記念事業特別会計

収支決算承認の件

議長は資料に基づき事務局長に説明を求めた。

事務局長はその内容を説明した。議長は理事会に諮った。理事会はこれを承認した。

第5号議案 人事

議長は資料に基づき、人事につき事務局長に説明を求めた。

(イ)新名誉会員の推挙の件

定款第5条3項および会員規定第2条4項、第6条3項により、次の4会員の資料が上程された。審議の結果、議長よりこれを諮り、理事会は満場一致で推挙を決定した。

氏 名	所 属
木 村 慎 一	関 西 支 部
上 辻 謹 一	〃
森 下 敏 郎	〃
南 沢 七 郎	〃

(以上4氏、順不同)

なお、樋口 治氏(関西支部)は監事の任期中に

あるため、名誉会員の推挙を辞退したい旨申し出のあったことを事務局長が補足した。

(ロ)資格変更非手続者(資格消滅)について

かねてより、会員規定第6条4項及び5項に基づいて、準会員より正会員への資格変更に関し所定の手続を行わなかった下記会員7名の準会員資格の消滅を審議した。いずれも異議なく承認した。

氏 名	会員番号	所 属
朝 倉 恒 男	B 54	関東支部
黒 沢 三智夫	B 68	関西支部
藤 川 卓 美	B 95	九州支部
脇 田 正 彦	B 103	関東支部
今 村 俊 章	B 108	九州支部
西 田 浩 人	B 146	関東支部
阿 藤 真美子	B 151	〃

(以上7名、3月20日現在)

なお、上記該当者は平成元年度通常総会で決議された場合、定款11条1項3に照して除名されることになる。

(イ)会費免除対象者承認の件

事務局長は下記の1名につき、会員規定第8条第1項2に該当するものとして内容を説明した。議長はこれを諮り、理事会は異議なく承認した。

浅 利 弘 三 (正会員) 関東支部
(長期療養中)

第6号議案 協賛・後援名義承認の件

議長は下記5件について事務局長に説明を求めた。

事務局長は資料に基づき説明を行ない、実施または実施予定について説明した。議長は本件について承認を諮った。理事会はいずれも異議なく承認した。

- '89ジャパンデザインコンペティション石川 <後援>
主催 '89ジャパンデザインコンペティション 石川実行委員会 応募申込期限 '89.7.31
発 表 9月中旬 石川県
展 示 11/2~5
- '89 J PAN SHOP記念 国際シンポジウム <協賛>
主催 : (財)店舗システム協会
('89.3.22~23 東京都)

- 第2回 アワードデザイン塾 <後援>
主催 株式会社 アワード
('89.4.3～9.18 徳島市)
- 『DESIGNERS HOLIDAY 1989』<後援>
主催 (社)新日本建築家協会
('89.5.19～24 東京都)
- '89 デザインイヤー地域フォーラム <後援>
JIDC5th 「ひと・もの・まち」
主催 (社)日本インダストリアルデザイナー協会
('89.4.1 名古屋, 東京, 大阪, 金沢)

第7号議案 入退会承認の件

議長は、下記18件について事務局長に内容の概括説明を求めた。事務局長は資料に資づき説明した。理事会はそれぞれの資料に基づき審議を行った。

・入 会 (16件)

氏 名	種 別	保 証 推 薦 者
高見 登	正 会 員	三上 英夫・山品 元
内記 悦子	"	下島 資子・
北村新比古	"	堤 久夫・森 宣雄
高橋 紘生	"	長谷川隆之・宮本 勝康
中島 重美	"	" ・ "
蕎原しげみ	"	山岸 証史・久志 宗昭
花田 眞	"	川崎 浩・安永 一典
黒河 昭一	"	川上 信二・岩澤 晴彦
瀬沼 茂廣	"	山岸 証史・
新井 宏侑	"	山品 元・安藤 孚
田阪 春夫	"	田中 博・山品 元
	(準より)	
中山 博文	正 会 員	福田 友美・岩倉 榮利
小森谷幸子	"	嶋 佐知子・宮嶋恵美子
	(準より)	
今井 壮一	正 会 員	大野美代子・長岡 貞夫
根本 恵司	"	泉 修二・田中 總行
	(準より)	

名 称	種 別	紹 介 者
刈谷木材工業 (株)	賛助会員	山 本 其観代

・退 会 (2件)

名 称	種 別	摘 要
吉田 誠	準 会 員	
黒野 敬三	正 会 員	

第10号議案 30周年式典に於ける顕彰の件

創立30周年記念式典に於ける顕彰対象について森谷理事から資料により提出された。

これは協会創立メンバー、特別功労者の人選、および賛助会員を対象に総務委員会が資料作成、選考委員会の議を経てまとめたものである。

議長は理事会に意見を求めた。結果、推挙事由、人選等更に再考の必要あり。理事会としては急ぎ総務委員会及び選考委員会で再検討の上、正副理事長の承認を得ることとして、理事会はこれを了承した。

第9号議案 議事録署名人選任について

議長は議事録署名人に大野美代子・川崎浩両理事の選任を提案し、承認を諮った。異議なく承認された。

(社)日本インテリアデザイナー協会63・第6回理事会に関し、定款第28条の定めるところにもとづき、議事経過の要領および議決事項を記するため議長と議事署名人がここに記名捺印する。

議 長 渡 辺 優Ⓔ

議事録署名人 大 野 美代子Ⓔ

議事録署名人 川 崎 浩Ⓔ

63・第6回理事会出席者

渡辺 優, 川上 信二, 中村 圭介, 大野美代子 宇賀 敏夫, 川崎 浩, 森谷 延周, 長岡 貞夫 白石 勝彦, 富田 卓司, 山品 元, 泉 修二 山内 陸平,
理事総数15名中理事15名(本人13名, 委任状2名)
監事 榎田 均, 樋口 治, オブザバー 坂下 昌

(敬称略・順不同)

次の新年度第1回理事会は5月26日(金)東京開催の予定。

Ⅱ. 報告事項

① 選考委員会報告

'89.3.13の選考委員会で下記の通り決定した。

イ. '88協会賞(第20回)

(作品) 笠松 栄「折り紙フアニチャー」

(作品) 坂本和正+方圓館「東京サレジオ学園
・ドンボスコ記念聖堂, 地域交流ホーム
のインテリアデザイン及び家具デザイン」

(作品) 阿部紘三「リネアジャパンを中心とし
た一連の家具デザイン」

ロ. '88.野口記念賞第1次審査通過作品決定
27作品(7校)中11点(7校)

② 海外派遣人事

'89.5.23~24にノルウェー, ベルゲン市で開催さ
れる第13回IFI総会に当協会から下記の3名の派
遣が決定した旨事務局より報告があった。

(団長・理事) 長岡 貞夫

(国際委員) 宮城由起子・矢作彩子

③ 合同運営会議報告

'89.2.10に開催された合同運営会議は下記議題が
報告, 討議された。

報告事項 昭和63年度事業報告(案)

議 題 イ. 平成元年度事業計画(案)

ロ. 創立30周年記念事業推進について
尚, 創立30周年記念事業の呼称を「JID30事業」
に統一することになった。

④ 消費税に関する通産大臣からの通達について

元産第33号平成1月23日付で「消費税の円滑かつ
適正な転嫁等について」の通達が代表者宛に来てい
る旨事務局長より説明, 今後JIDでも税理士に依
頼して勉強会を随時開きたい旨発言があった。

⑤ 意匠制度100年の歩みについて

特許庁意匠課より「意匠制度100年の歩み」の寄
贈があった。

⑥ 第16回国井喜太郎産業工芸賞受賞決定の件

去る2月17日の工芸財団理事会で下記の方々が受
彰された。

新居 猛(徳島県 JID会員)

福島県三島町(町長:佐藤長雄, 千葉大学 宮崎清,
生活工芸館)

伊差川 新(沖縄県)

⑦ '89デザインイヤー関係説明会報告

('89.3.21 プレス発表会)

事務局長が出席し, 発表内容について説明

主な内容は下記の通り

① 「'89デザインイヤー」

「世界デザイン博覧会」をはじめとする博覧会が
88件。

「世界デザイン会議」(名古屋)等のコンベンシ
ョンが34件, コンクールが53件。

② 「'89デザインイヤーフォーラム」ではデザイン
イヤーのシンボル事業として「日本デザイン賞」
をすることに決定した。

③ 「デザインワークショップ」(地域別デザイン研
究会)を全国15地区で開催することに決定した。

⑧ 事務局アルバイト採用の件

事務局繁忙のため2月27日より青木園枝を採用し
た。

⑨ 平成元年・二年度JID協会会員名簿の発送について
昭和63年度内に印刷製本, 4月早々に発送の予定。

⑩ 記念事業事務局整備について
事務局の奥の部屋を4月10頃迄に整備する。

⑪ その他 会員の消息

事務局長より下記2件の報告があった。

・柘植一毅氏(関西)

(快方に向かわれ3月より仕事開始された。)

・近藤康夫氏(関東)

(IFI国際インテリアデザインアワード受賞。)

⑫ 「ニューオフィス」推進状況について

ニューオフィス推進協議会へは委員として藤村盛
造正会員が活動している。

同協会では昨年度からオフィスデザイナーの講習
を始めたが, 平成元年度も引続き進めるとの事であ
る。この辺の情報を会員に知らせるようにしたい。
以上渡辺議長より報告された。

以上のうち①, ②, ⑥, ⑧, ⑨, ⑩, ⑫の
7件について理事会は了承した。

第21回(平成元年度) 通常総会へご出席を

平成元年度の通常総会は来る5月26日(金)東京で行わ
れます。全会員には来る5月12日総会議案書と案内を事
務局から発送の予定です。

以下, 簡単に日時, 場所, スケジュールをお知らせい

たします。

- ① 日時 5月26日(金) 12時45分～14時
② 場所 東京都新宿区霞ヶ丘町15番地 (地図参照)
(電話 03-401-0101～9)

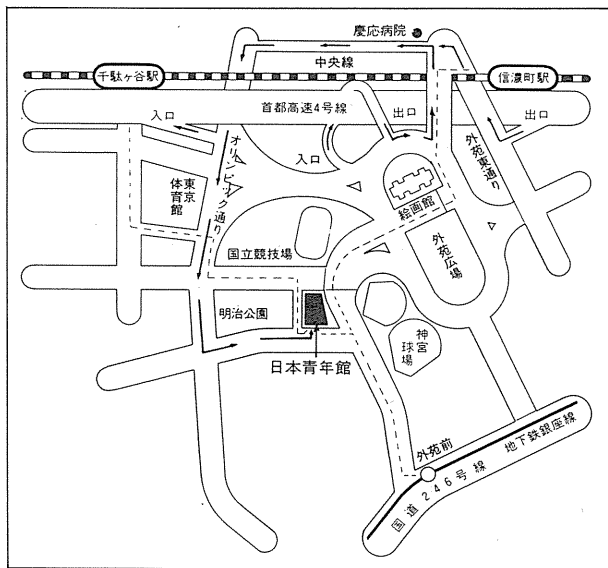
交通は以下がご便利です。

- 国電信濃町駅より徒歩7分
- 国電千駄ヶ谷駅より徒歩7分
- 地下鉄銀座線外苑前駅より徒歩5分

(駐車場完備, B3F)

- ③ 1988 JID協会賞贈賞式と野口記念賞授与式及びパーティー 同日, 同場所で開催。
④ 創立30周年記念式典が同日併催されます。

案内地図



第13回IFI会議ベルゲンに 代表団を派遣



第13回IFI会議がノルウェーのベルゲン市で1989年5月25日から27日まで開かれます。今回の会議の主な目的はインテリアデザインを, 広い意味での空間概念(スペースコンセプト)と関連づけることです。

今回JIDより以下の方3名の代表団派遣が決定いたしました。成果を期待するとともに, ミッションの旅行の安全をお祈りしたいと思います。

JID 代表団 (敬称略)

団長 長岡 貞夫 (国際担当理事) 関東支部
団員 宮城由紀子 (国際委員会 委員) "
団員 矢作 彩子 (" ") "

なお, 5月23～24日は, IFI通常総会が開かれます。
25日以降は, 以下のプログラムが予定されています。

◆ 5月25日(金)

テーマ: 他の芸術形態における空間概念

- ① 音楽の空間, 時間, 色彩
- ② 舞踊の空間と緊張
- ③ 空間の行為としての演劇

この日の会議はベルゲン国際フェスティバルのプログラムに組み込まれている。各講演には絵画, 生演奏, ダンス, ドラマが付随する。

◆ 5月26日(土)

テーマ: 空間哲学

- ① 哲学的概念としての空間
- ② 芸術手段としての空間
- ③ 生活様式と空間形態

◆ 5月27日(日)

テーマ: 傾向と展望

- 1) 世界のインテリアデザインにおける発展の報告

北: スカンジナビアと北部ヨーロッパ

南: ラテンアメリカと地中海諸国

東: インドと日本

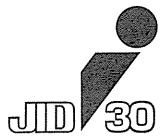
西: アメリカ合衆国とカナダ

- 2) 将来展望…今後数年間で重要となるものは何か?

◆ 種々のイベント

会議は「ベルゲン国際フェスティバル」と並行して行なわれる。会議プログラムは参加者が自由に夜のフェスティバルを楽しめるよう計画されている。また会議参加者とその友人によるパーティーも予定されている。

(国際委員会+事務局)



「JID30記念事業」 発進中

「JID NEWS」臨時号1,2でごらんのように、JID 30記念事業委員会（川上信二委員長）は、フル回転で精力的な活動を続けております。

特に、委員会の中の核として、常任委員会（委員長・川上信二、委員・長岡貞夫、森谷延周、田中聰行）が頑張って、ハードスケジュールをこなしています。

一方、国レベルでの「'89デザインイヤー」もいよいよ4月1日からスタート。一気にデザイン運動が盛り上ってまいりました。JID 30記念事業も、「展覧会事業」、「デザインツアー」など、イヤー協賛事業として位置づけ、実施されるようになります。

すでに趣意書をはじめ、展覧会（福岡展、名古屋展、大阪展、東京展）の企画書、世界デザイン博覧会ギャラリー合同展企画案内等々が、ほぼ固まっております。

また、広報担当（笠松栄広報委員長）で、B全版のカラー刷ポスター企画が進んでおります。研究事業（山田伊三郎研究委員長）では研究セミナー実施の企画が、交流事業（山本棟子交流委員長）では、本号掲載のようにデザイナーズ・デイ・イン・ナゴヤが計画されています。

そして、国際交流事業（後藤宣夫委員長）では、アジアの著名インテリアデザイナーを各国2名程度招請して、「デザインツアー会議（仮称）」を開催する予定です。

出版事業としては、一つに、出版委員会（吉良ヒロノブ委員長）が担当するJID機関誌「インテリアデザイン」（JID 30周年史特別号）と、「研究セミナーレポート」があります。もう一つ、シリーズとして定着したインテリア・マップの決定版として、「新・インテリア・マップ・国内外主要都市事業所収録版」をインテリア・マップ委員会（福田友美委員長）で進行中です。

以上の諸行事に関連する外部事業としては、冒頭に触れましたように、デザインイヤーがあります。具体的には特に密接なものとして、「世界デザイン会議」、「世界デザイン博覧会」、「'89アジア太平洋博覧会」、「国際デザイン展」等、多彩です。

事務局もJID 30記念事業事務局（野村禮七郎事務局長）が正式に発足いたしました。いろいろ多彩にインフ

ォーメーションがお手元に届くと思います。各事業支部の会員各位のおひとりおひとり積極的なご参加をお願い申し上げます。（事務局）

「インテリアデザイナーズ・デイ イン NAGOYA（仮称）」企画

会合名 全国交流委員会（本部交流・中部・関西事業支部合同委員会）

日 時 平成元年2月25日 16:30~19:00

場 所 名古屋市 ホテル・サンルート・ナゴヤ

要 旨 今年、名古屋で開催される世界デザイン博覧会期間中の9月15日（祝）を「インテリアデザイナーズ・デイ（仮称）」とし、JID 30周年記念行事の一環として計画している名古屋での「JID大交流パーティ」の概要が話し合われた。

本部交流委員会から、デザイン博見学と合せてJID 30周年記念交流大パーティに多数の会員の参加による盛り上がりが見られるよう、パーティが行われた9月15日を「インテリアデザイナーズ・デイ」とする。JID会員が博覧会白鳥会場のパビリオンに優先的に入場できるようなVIP待遇や9月15日を中心としたその前後を「インテリアデザイナーズ・ウィーク」として、宿泊施設の確保と名古屋を中心とした「ナゴヤ・ワンデーツアー」の企画などを先日交流委員会が行ったアンケート調査の中から希望の多かった点を取り上げ、実現のため、中部事業支部の協力を要請した。

これに対し、中部支部からJID会員の当日VIP扱いについては（財）世界デザイン博協会の協力を得て実現に努力したい。ただし実現にはパビリオン出展各企業ごとに交渉する必要があること、参加会員の人数が現在掴めない点、VIPとしての入場方法などを検討したい。又、宿泊施設の確保やナゴヤ・ワンデーツアーの企画・実施の点は、中部事業支部としては手不足の上、不慣れなことなので、旅行代理店にまかせた方が、乗車券の団体扱いや、記念交流大パーティの会場の確保まで、うまくやってくれるのではないかと見解が述べられた。

その他、記念大パーティの関係官庁・諸団体招待者名簿の合同チェックを行った。

出席者 本部交流委員会

白石勝彦（担当理事） 山本棟子（委員長）

長谷川隆之（副委員長） 浅野盛治，見城美子，宇佐美伶子，佐藤雅樹（各委員）

中部事業支部

宇賀敏夫（理事） 林寅正（支部長） 柄谷

賢一（交流委員） 山本隆嗣（事業） 池田

高明（総務） 田村悠（広報） 中村英哉（事務局）

関西事業支部

山口道夫（事業部会長・世界デ博担当）

須川武博（展覧会委員長）

（文責・長谷川）

追記

2月25日，名古屋・合同委員会に於ける「インテリアデザイナーズ・デイ（仮称）」デザイン博白鳥会場「特別見学券」（仮称）実施の検討を，（財）世界デザイン博協会事務局へ JID 渡辺理事長から文書で依頼中である。

交流委員会報告（再録）

交流委員会の活動の一つである交流パーティーは回を重ねるごとに参加者も増え，輪もさらに広がってきました。

去る10月7日（金），オカムラ・インテリアショールーム〈ファッソン・プラザ〉オープンに際し，イブニングフェスタが開催されました。海外デザイン研修員の皆様や通産省検査デザイン室の方々に加え，会員外の方々も交え100名近い参加者を得て盛会となりました。

当委員会では，ひき続きよりよい企画をと考えています。又，少し先の事ですが，JID 30記念事業の一つとして，来年の世界デザイン博に時期を合わせて名古屋での親睦パーティーを計画しています。会員・賛助会員の皆様，今後とも積極的にご参加下さることを期待しています。

尚，近々交流委員会事業についてアンケート調査を行いたいと思いますのでよろしくご協力をお願いいたします。

（交流委員会・見城美子）

（注）本原稿は，前1,2号のニュースに掲載したものを，一部補遺の上，再録したものです。

（事務局）

事業支部の動き

— 中部事業支部 —

I. 30周年JID巡回展，本部・関東・関西・中部 支部合同会議

日 時 1989年3月29日 16:00～21:30

場 所 (株)ハットリホームインテリア

出席者 関東 川上，中川，斎藤，竹中

関西 富田，山口

中部 宇賀，林，栃谷，関，山本，熊谷，

堀内，大橋，田村

1. 記念事業委員会委員長 川上信二氏より概要報告
2. 展覧会委員会委員長 中川齊二氏より東京展企画書及び会場構成案説明
3. 林中部事業支部長より名古屋展会場構成案説明
4. 富田関西展実行委員長より大阪展企画書及び会場構成案説明

この後，各支部間における意見の調整が行われた。

本部展覧会委員会にたいして，支部からの諸問題が，提起され，巡回展に対する基本的疑問点に対して議論された。

共通統一一点については，下記の様に確認された。

A. メインテーマ

21世紀に向けて

～ながれ～ 生活創造環境への潮流

B. サブテーマ アメニティをこえたインテリア

C. キーワード 「五感に訴えるもの」

見る・触れる・聴く・味わう・かぐ

D. 福岡展 5/1～9/3 福岡シーサイドも もち住宅環境展

名古屋展 9/14～9/26 丸栄ハローネ

大阪展 10/6～10/11 近鉄アベノ

東京展 10/19～12/5 銀座ポケットパーク
ギャラリー

11/20～11/26 ダイコーライティ
ングラボ

E. 導入ブース（テーマ，挨拶，開催趣旨）

協会ブース（JIDのPR 理念・事業・組織・30
年史・協会賞・野口賞）

福岡・名古屋・大阪・東京各地巡回。製作 展覧

会委員会

F. テーマブース 名古屋 大阪・東京各展示場相互
持ち回りとする。

今回の合同会議は，もっと以前からコンタクトをとって30周年記念事業としての意見の統一を計る必要あり少々遅きの感があるが，今回の会議により本部の考え方，支部の考え方のギャップを埋める事ができ，これを機会に一気に巡回展の成功にむけ，記念事業のポイントの一つである「全会員が参加」を，各会員が肝に銘じ積極的に意見を出してほしいと思います。

全員がそれぞれ忙しく仕事に追われているのです。

忙しいという口実はなくし，眠った振りは，止めてほしい。

今何を為すべきか，自分に与えられた責任はなにか，各会員に今問いたい。

（報告 田村 悠）

II. 30周年JID名古屋展について拡大委員長会議

日 時 1989年4月4日 17:00～21:40

場 所 (株)ハットリホームインテリア

出席者 宇賀，林，関，山本，熊谷，大橋，八代，
小柳，前田，田村

1. 創立30周年記念事業巡回展は，「30周年JID名古屋展」に決定。
2. 名古屋展にたいして，中部事業支部実行委員会を，設置する。
3. 30周年JID名古屋実行委員会組織 以下とする。

総 括	林 寅正
展覧会実行委員長	・栃谷賢一 山本隆嗣
会場企画・構成委員会	・熊谷正信 大橋義博 尾崎博志 関里絵子 村上章彦 小松暁一
財務委員会	・堀内啓二 宇賀敏夫 本多政之 八代美智子
広報委員会	・田村悠 前田千鶴子
パーティ委員会	・池田高明 木辺智子
セミナー委員会	・小柳朝一
展示委員	
導入ブース 協会ブース 会員パネルブ ース	・本間純一 中島健視 横田真利 加藤博之 安藤 清 坂田守正 斎藤義男 松田康夫 棒田邦夫 藤田真二

テーマブース	・広瀬 一 奥山寿一 林 英光 高橋啓子 若園 晃 喜多計世 瀬十記夫 山腰 実 葭原 基 北出光弘 藤井 豊
インテリアエレクトロニクスブース	・関西冬樹 早川正直 松波一夫 玉置勇一 長坂 信 中里信正 佐藤孝男 須田菁一

4. 費用の件

企業参加（各会員の努力により多くの出品を期待したい）

会員参加（中部事業支部全会員の参加を原則とする）
この件に関して早急に、財務委員会、会場企画・構成委員会が開かれ、詳細決定いたします。

J I D 30周年記念事業として、J I D 巡回展の他、世界デザイン博覧会デザインギャラリー展示、名古屋パーティ（9/15）インテリアデザイナーウィーク、世界デザイン会議（10/18～10/20）等、現在中部事業支部のスケジュールが真っ黒になっています。

4/1 からデザインイヤーがはじまっております。インテリアデザイナーの進むべき道、ポジショニング、デザイントレンド、今、一人一人が専門の場からの発言が必要です。

今、眠った振りのデザイナーに、21世紀は存在するのか。

デザイナーのポジショニングを確立してほしい。

他人に責任転嫁せず、全員参加の意味からも責任を持って、行動してほしいと思います。

（報告 田村 悠）

デザインコンペ2題

第4回B L国際デザインコンペティション

- ・主 催 財団法人ベターリビング
- ・後 援 建設省、住宅・都市整備公団、住宅金融公庫、B L推進協議会
- ・課 題 「バスルーム」
- ・賞 B L大賞 1点 賞状および賞金100万円
優秀賞 3点以内 賞状および賞金50万円
佳作 数点 賞状および賞金10万円
奨励賞 数点 賞状および賞金5万円

・スケジュール 応募登録締切 1989年6月30日

作品提出締切 7月31日

・審査委員 委員長 山下和正 他委員6名

・問合せ先 財団法人ベターリビング 研究企画部
国際課

〒107 東京都港区赤坂1-6-19

勝永ビル7F

TEL 03-586-4901

FAX 03-582-2013

なお、募集要項はJ I D事務局にありますのでお申し出下さい。

商環境デザイン賞'89

・主 催 社団法人 日本商環境設計家協会

・募集締切日 1989年5月19日 窓口必着

・審査対象 第1部 ショップ、ストア部門

第2部 レストランサービス部門

第3部 複合商業施設部門

第4部 その他、上記にあてはまらない部門

1988年5月1日から1989年4月までに日本国内において実現し、現に機能しているスペース

・応募資格 上記対象に責任ある立場で関与した設計者、デザイナー、製作、施行者

・応募の方法 写真（カラーまたはモノクロプリント）および必要な図面等とし、B3のイラストボードを横に使う。

・入賞の扱い 各部門ごとの入選対象の中から

1. 商環境デザイン大賞

2. 同優秀賞

3. 同奨励賞

以上に対し賞状並にトロフィーが贈られる。

・審査員 赤松良一氏、他9名

・審査手数料 ボード1枚ごとに2,000円

1989年度文芸美術国保案内

会員の中でも、文芸美術国保の有利さから、毎年加入する方々が増えてきています。

(表)でもおわかりのように、本年も保険料の改訂がありません。会員1人月額7,800円、家族1人月額3,800円です。一般国保より有利だと思います。特に家族数の少ない方はご検討下さり、加入されることをおすすめします。なお、被保険者証の更新は平成元年4月1日で、様式は前年通り、色調はアイボリー色になりました。

JID関東事業支部サロンご利用案内

関東支部では会員の皆様が気軽に利用できるサロンを正会員佐々木浩氏のご協力で開設しています。委員会のほか、会員各位のお打合せなどにも便を計っておりますので、積極的にご利用下さい。

場 所 東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービルB1F
新宿駅より徒歩3分
(関東事業支部サロンの表示が出ています)

電 話 03-344-1050

お問合せ 佐々木 浩、西村佳子

利用時間 平日 11:00～19:30

日祝 11:00～17:00

東京都23区保険料と組合保険料の比較表

(平成元年4月)

元年度の住民税 (特別区民税・都民税)	東京都23区保険料年額 住民税 $\times \frac{107}{100}$ + 1人につき14,400円 最高限度額 40万円						組 合 保 険 料 組合員 (月額) 7,800円 家 族 (月額) 1人 3,800円 年 額
	10万円	15万円	20万円	25万円	30万円	35万円	
単 身 者	円 121,400	円 174,900	円 228,400	円 281,900	円 335,400	円 388,900	円 93,600
家 族 1 名 (世帯人数2名)	135,800	189,300	242,800	296,300	349,800	400,000	139,200
家 族 2 名 (世帯人数3名)	150,200	203,700	257,200	310,700	364,200	400,000	184,800
家 族 3 名 (世帯人数4名)	164,600	218,100	271,600	325,100	378,600	400,000	230,400
家 族 4 名 (世帯人数5名)	189,000	232,500	286,000	339,500	393,000	400,000	276,000

(注) 太線内に該当する方は、文芸美術国保組合の方が収入に拘わらず一率料金のため、トクであることとなります。

消費税関連のお知らせ

政府広報をはじめ、新聞・報道等で消費税関連ニュースをよく見聞します。JIDにも、デザイナー関係業務について趣旨徹底を図って欲しい旨、管掌官庁である通産

省より別添の書類(誌面の都合上、要旨のみ)が来ております。ご参考までに掲載いたします。尚、詳細等更にお知りになりたい方は事務局(03-403-3649)にご相談下さい。

① 通産省検査デザイン行政室長 長尾梅太郎氏
文書

平成元年 1 月 23 日

各位

各団体の方々におかれましては、日頃デザイン行政の遂行に関し、特に '89 デザインイヤーの推進のため数々の御協力を賜わり厚くお礼を申し上げます。

さて、既にご承知のことと思いますが、昨年末消費税法が公布、施行され本年 4 月 1 日以降に行われる商品の販売、サービスの提供等に対して 3% の消費税が課税されることとなりました。この消費税は、事業者が直接負担を求めるものではなく、事業者が行うサービスの提供等の価格に上乗せされ、次々と転嫁されて、最終的には需要者が負担する仕組みとなっております。したがって消費税の円滑かつ適正な転嫁を図ることが重要であります。

このため、通商産業省といたしましては、同封の文書のとおりにデザインの取引に係る関係各企業等に対して消費税の転嫁をお願いしているところであります。

貴団体におかれましても、以上の趣旨をご理解いただき同封の文書により貴団体会員各位に消費税の転嫁を、周知徹底していただきますようお願いいたします。

② ①に同封の、三塚博通産大臣 文書

元 産 第 3 3 3 号

平成元年 1 月 23 日

消費税の円滑かつ適正な転嫁等について

昨年末に消費税法が公布、施行され、消費税が本年 4 月 1 日から導入されることとなりました。

消費税は、税制改革法第 11 条に規定されているように、消費に広く薄く負担を求めるという性格を有するものであり、事業者は、消費税を円滑かつ適正に転嫁するものとするものとされ、また、国は、消費税の円滑かつ適正な転嫁に寄与するため、消費税の仕組み等の周知徹底を図る等必要な施策を講ずるものとするものとされています。

同規定の趣旨も踏まえ、政府は、本年 1 月 6 日に新税制実施円滑化推進本部を設置したところであり、当省も、昨年 12 月 27 日に消費税導入円滑化対策推進本部を設置して、国民に対する広報等の消費税の円滑な実施のための

対策を強力に推進することとしております。

つきましては、貴団体におかれても、下記の事項につき遺漏なきよう傘下の企業等に周知徹底いただきますようお願いいたします。

記

1. 事業活動にあたっては、消費税を適正に転嫁するとともに、転嫁を適正に受け入れること。

特に転嫁の受入れについては、仕入れ等にあたり、取引の相手方が消費税を円滑かつ適正に転嫁できるよう万全を期し、いやしくも、独占禁止法上の不公正な取引方法を用いたり、下請代金支払遅延等防止法に違反する行為を行うことのないよう、公正取引委員会事務局の「『消費税の転嫁と独占禁止法』についての手引き」及び公正取引委員会委員長との連名通達（「消費税導入に係る下請取引の適正化について」（平成元年 1 月 20 日、元企庁第 26 号・公取下第 8 号等））を遵守すること。

また、下請等の取引関係にある関連企業に対しても、その仕入れ等について同様の趣旨を徹底するよう要請すること。

なお、取引の相手方が消費税法附則第 30 条に規定された転嫁のための共同行為に参加している場合は、当該共同行為の内容を適正に尊重すること。

2. 消費税の導入に対応した新しい商慣行を形成するため、必要がある場合には、各業界において、その実情に応じて、価格表示の方法、価格交渉の方式等の統一が図られることが望ましい。このため、消費税法附則第 30 条に規定された転嫁のための共同行為を利用する場合には、公正取引委員会事務局の「『消費税の転嫁と独占禁止法』についての手引」を遵守すること。

3. 消費税の転嫁にあたり、いやしくもこれに便乗して不当に価格を引き上げることのないようにすること。

4. 物品税等既存間接税の廃止等による税負担の軽減額を価格に適正に反映させること。

(事務局)

関連団体の動き

◇ (社) インテリア産業協会

去る 3 月 27 日より、下記に当会事務所を移転しまし

た。

これを機会に協会の事務機能はもとより事業活動のより一層の充実を図って参る所存でありますので何卒倍旧のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〒160 東京都新宿区新宿 3-13-5

クルハシビル8階

電話 (03) 5378-8600 (代)

FAX (03) 5379-8605

専門家のご紹介

既報のように、下記の専門家がJID会易のためにその道の相談にのって下さいます。節税対策など、特にフリーランスの立場にある会員諸兄にも、日常の業務に関連して会計上の疑問などが生じることがあるかと思えます。その際は時間の許す限り。電話問合せなども含め助言をお願いしてありますので、JID会員であることを告げて、お気軽にご相談下さるようおすすめいたします。

小野木日出勝事務所

税理士 小野木 日出勝

(東京税理士会会員)

〒182 東京都調布市入間町 1-27

電話 03-309-6600

FAX 03-307-2255

インテリア・プロダクト

作品写真撮影のお知らせ

会員の皆様にはますますご清栄のことと存じます。このたび、デザイナーの方々のお仕事の大切な記録用としての、写真撮影部門を拡充いたしました。従来にもましてサービスさせていただきますので、ぜひ一度お試し下さいますよう、ご案内申し上げます。

ご一報次第料金表など資料を急送いたします。ご用命のほど、お待ち申し上げます。

スタジオ アイ

〒143 東京都大田区大森北 1-27-5

電話 03-765-7840

担当 竹本 浩

会員の消息

◇ 柘植 一毅

退院以来早くも一年と一ヶ月が過ぎ、只今は三ヶ月に一度内視鏡検査に病院へ行っております。

おかげ様で経過は頗る良好で、現在のところ再発の兆しは皆無、体調も手術以前よりずっと良くなって参りました。その節には大変ご心配をいたゞき有難うございました。あの時の嬉しさは一生宝れることはできません。

肝機能の方も、皆様方のご厚情と御理解のお陰で、長期養生ができ、昨年の暮あたりから、少しは快方に向い主治医の夜間は絶対禁止という警告のもと、やっと二年ぶりに仕事を始めることが出来るようになりました。もともと夜行性でしたので、これからという時に中断し、仕事を明日に残さねばならぬ苛立たしさはありますが、それでも一日ボヤッと過ごしていた頃よりはどんなに幸せかわかりません。今度こそ本当に健康のありがたさをつくづく思い知らされました。(中略)

何分、二年もの年月医師から仕事を禁じられておりましたので、心身共にどん底の生活を余儀なくされ、殆ど諦めの状態から再び脱出できましたこの感激を思いきり仕事にぶつきたいと念じております。

以上、平素のご厚情お礼かたがた近況ご報告まで。

(関東、正会員)

◇ 白石 勝彦

新緑の候、皆様ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、ここ数年の間、小山区東京工科専門学校インテリア科の責任者として、インテリア科の新設、運営に専念して参りましたが、ほぼ軌道に乗り、発展への道を歩み始めましたので、この度その職を辞し、再び白石勝彦住空間計画室の代表として、住宅、インテリア産業界において企画・開発・人材育成などの業務を再開することとなりました。

小山区東京工科専門学校インテリア科在職中は、いろいろとお世話になりましたが、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

(関東、正会員)

白石勝彦住空間計画室

代表 白石 勝彦

〒156 東京都世田谷区経堂 1-35-15

TEL 03 (425) 5288

FAX 03 (426) 5179

◇ 今井 壽志

何時も、いろいろ送って頂いてありがとうございます。やっと慣れてきて、生活らしくなってきました。寒さも一段落してきた様で、ホッとしている所です。とにかく日本人観光客の多い事、多い事……。

インフルエンザにやられましたが、なんとか頑張っています。これからも、いろいろ御世話になります。宜しく御願います。

(関東、正会員：在ニューヨーク)

HISASHI IMAI

311 E. 38th. St. #4C

New York, NY. 10016

U. S. A.

◇ 廣田長次郎

今般、当寒川町では町立寒川東中学校が4月4日開校されました。同校の建設に当たり、町教育委員会の委嘱により正面玄関ホールの壁画のデザインを担当いたしました。同壁画のデザインはコンピュータグラフィックスを導入した中学校校舎の壁画としては画期的なものと思います。

壁画“躍動”の概要

1. 大きさ 横 6.8 m×縦 2.4 m
2. テーマ 水と緑と21世紀、且つ東を象徴すること。

昨年9月以来かかりっきりで、初めての仕事が多くて、苦しさ楽しさの半年を送りました。インテリアデザインとコンピュータ・アートの合の子の作品です。30分位の発表の機会があれば、お目にかけたいと思っています。(名誉会員)

事務局付記：作品写真をお預りしております。

「事務局の窓」から

前事務局長 山品 元

初夏、萬緑の季節が巡ってまいりました。恒例の通常総会準備等で気忙しく過す日の夕暮れどき、ふと事務局

の窓外に目をやると、「陽が長くなったなァ」と感ずる今日、此頃です。

忙中閑、こうしてひと息入れることを繰り返して早や11年経ちました。社団法人の望まれる事務局を模索しながら、私なりに工夫もし、微力を尽してまいりました。しかし、どれだけそれらが本当に役に立つかは、むしろこれからかも知れません。現実には意外に厳しいもので、効果は至極ゆっくりとしかやって来ません。

こうして振り返ると、やはり気がかりなのは財政です。財つまり、お金を口にする方々は沢山いるのですが、使い上手が多い割には収入役は概して少ないものです。周知のように年会費はここ11年間据置きのままですから、会員拡大策で財政バランスをとるようつとめて来ました。この方法ですと、即効薬はその年度の入会金収入だけで、数の上で、余程の大きな拡大でもない限り、反対給付の自然増分でやがて相殺されてしまいます。

JIDも今年度から事務局長の専従採用にも踏み切った訳で、端的に申して一般管理費の増大を上廻る事業収入を画策実行しないと、負担増のみの結果を招くことにもなりかねません。社団法人に相応わしい公益事業で、なおかつ、収益面もうま味のある事業とは何でしょうか。大局的、長期的に考えて行きたいと思います。

やはり、いつの間にか事務局長的口調になってしまいました。閑話休題。

10年超の間、何と申しましてもお世話になりましたのは、歴代の理事長です。中でも白石勝彦理事長にはご指導いただきながら新米事務局で度々ご迷惑をおかけしてしまいました。今もって慚愧の念に堪えません。お金がないことの辛さを当時イヤという程思い知らされました。現在と比較してなお、財政基盤がまさに軟弱な時代でした。余談ながら、紙、鉛筆等消耗品さえ十分でない有様で、急抛、事務局長が広告部長に变身、お金を集めて来て一揃い一新した記憶があります。事務局給与の支払延期も稀でなく、やり繰り算段の日々が続きました。今だから書けるお話です。当然、白石理事長にも金銭面での心配を終始おかけしました。鳩首会議が続いたものです。

創立20周年記念事業が一段落して、中村圭介理事長に代りました。継投策でしたが、やはり数字の面で種々、智慧を絞って実行していただきました。法制、財政の両面に該博な方で、その方面に人脈もあり、協会にとって

は今もって貴重な存在と私は思っております。

三輪正弘理事長には、3期6年一番長いおつき合いをお願いいたしました。私も漸く、時折、事務局の窓外を眺めやるゆとりが出て来た時期です。ミワさんの、インテリアデザインについての確固たる視座からの、明晰な卓見に私も再三、啓発とご指導を受けることができました。加えて、物事の進め方については、いつもベーシックな指針をいただきました。現在の私にとって、大きな財産です。

そして、現職の渡辺優理事長の時代になりました。2期目の後半にさし掛ったところで、女房役である事務局長を退任させていただく身勝手をお許ししたいと思います。ユウさんは三輪理事長とは対照的に、私にはコワイ上司です。磊落に振舞いながら、実は緻密、厳格ですから私もつとめてスジやケジメをはっきりするよう一生懸命に致しました。私の長い猛烈サラリーマン時代の経験がこの時期、一番生かせたというところでしょうか。

感謝の意味をこめて、歴代4理事長に触れました。ともあれ、女房役であった私の見るところ、公職である理事長をお引受け下さった方々に共通するのは、人格識見ともに申し分なく、また、ともに高潔の士であるものだというのが実際に伺候した者の印象です。すぐれたデザイナーであればつとまるというものでもないからです。対外的には官公庁を含むデザイン分野外との接触も多いわけで、その点バランス感覚抜群でないと任に堪えません。

また、公職というものは一面不便なもので、いつも身辺をきれいにしておかなければならず、窮屈な思いを強いられながら、時にハードなスケジュールを協会の顔としてこなしていただかなければなりません。その点、歴代理事長には本当に申訳なさ感謝の念を捧げたいと思っております。会員各位には執行部の最終責任者としての理事長に種々ご注文はおありだとは思いますが、前述のように名誉職どころか理事長、副理事長など要職をつとめて下さっている方々は本当に大変です。どうぞ、他人事と思わず、ご理解下さるようお願いいたします。

在任中の人事について簡単に触れてみたいと思います。協会には名誉会員（うち、名誉理事含む）の制度があります。この11年間で、晴れて名誉会員の推挙を受けた方は26名の多きに上ります。中に今なお、カクシャクと

して活躍されておられる方を見るにつけ、デザイナーとは身心ともに緊張感溢れる真人類なのだなァと感ずる次第です。

また、一方、悲しむべくは、物故された方が31名に達し、中でも若くして急逝の訃報に接する、悲しい思いを味わうことも一度ならずありました。役目柄とは申せ、弔問でご遺族の涙に接するのは、私事ながら昭和53年入局の年に両親の急逝があり、それをその都度思い出し、辛い仕事でした。

忘れられないのは顕彰です。故山口勇次郎氏をはじめ、川崎浩、樋口治両氏の褒章受章がありました。特に川崎、樋口両先輩の折は、何度となく管掌官庁へ足を運び、ご両所にも貴重な資料をお借りするなど忙しい思いをいたしました。それだけに結果がマルとなり、藍綬褒章が決定した時は苦労らしいものが一遍に霧散し、乾杯しました。ご当人と同様の嬉しさを共有できるのは事務局冥利に尽きるというものです。関西にあってご両所ますますお元気のご容子、斯界の発展の為に長くご活躍いただきたいと思います。

人事の最後は事務局です。私が入局した後も、何かと相談し、その都度親身になって有為の示唆と支援を賜った、工藤広忠氏（現・名誉特別会員）には大変お世話になりました。上述の顕彰書類等をはじめ、種々事務局実務面で沢山のことを教えていただいた初代事務局長です。清廉潔白、飾らないお人柄にはいつも敬服しておりました。私などまだヒヨコです。事務局員も分部貴子、池田則子、鹿児島美枝お3方の前任者を経て、現在の伊藤公子（入局7年）、朝妻昭子（入局6年）、この4月からの青木園枝（アルバイト）の系譜です。伊藤、朝妻のお2人には事務局事務をイロハから覚えてもらいました。OJTはサラリーマン時代に叩きこまれていましたので、相当シビアとも思える方法を、時には使いました。大別して、業務、経理と僅か2つのセクションながら担当部署の入れ替えも5年前に断行しました。当事者はもとより、管理者としての事務局長も同時に辛い思いでした。しかし、結果はご存知のようにご両人とも他団体職員に遜色ないベテラン事務局員に育って呉れました。今後、新任の野村禮七郎氏の両腕になって貰えることでしょう。

思えば、11年前、会社人間としてただただ仕事だけやって来て、ふと人生に欠落したのを感じていた矢先に、渡辺力先生のご推薦で入局することができました。その

際、自分なりに決意したことは、伝統あるJID事務局長の公的職責を全うするため、①とも角、仕事に徹すること、そして仕事に「私」を持たないこと、②出身学校やその他セクツ的なよすがとなるものを排すること、③人生の出会い、ふれ合いを大切にすること、の3点でした。最後の③のふれ合いだけは、大過なく満喫させていただきました。あとの2つは、皆様で採点してみてください。点数に辛い方々が多いかも知れません。また、豊口克平大先輩はじめ長老（失礼！）の方々には陰に陽に激励を賜わり、私の仕事の支柱になりました。ありがとうございます。

さて、随分と長い文章になってしまいました。こうして書き綴ると、不思議なもので、「11年はそうそう短い年月でもなかったかな」という気がして来ました。まだまだ、書き足りない方々のことが沢山ありそうです。お名前を挙げる誌面がありませんので、又の機会に譲らせて下さい。

理事、監事を歴任の各位、関西、九州、中部の支部長、事務局担当の方々、そして委員長、委員の会務遂行のVIPの会員諸兄姉、皆様ほんとうにお世話になりました。事務局長を退くとは申せ、私も理事の末席を拝しており、何よりも正会員の1人ですから、一休止の上は、私なりに微力ながら引き続き尽力したいと考えております。どうぞ今後ともご指導、おつき合いを賜わりますようお願い申し上げます。

また、併せて後事を託す野村禮七郎新事務局長をよろしく願いいたします。専従事務局長として全力投球できるよう、私も蔭ながら応援する予定です。ご支援下さい。

末尾で失礼ながら、会員各位の益々のご発展とご健勝を心よりお祈りしております。本当に長い間、お世話様になりました。又、お会いしましょう。

（文中、一部敬称略、010501）

事務局入局にあたって



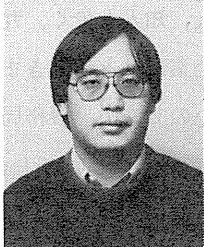
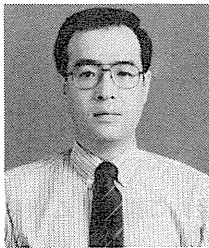
新事務局長 野村禮七郎

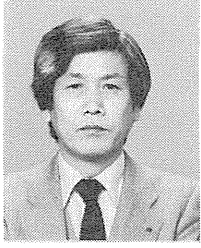
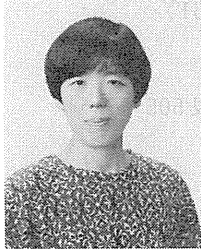
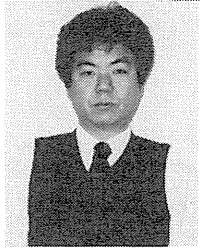
このたび、ご縁あってJID本部事務局に入局させて頂くことになりました野村です。社会に出てから、木工関係の会社に10年間、航空宇宙機器製造支援関係の会社に30年在職し、インテリア関係の仕事には疎遠でしたが、JIDには泉理事をはじめ友人、知人も多く、九州支部の坂本康四は私の実兄です。企業には永年働きましたが、団体事務職は全く経験がないので、山品事務局長から毎日ご指導頂き、目下引継ぎに鋭意努力中です。折しもJID 30記念事業が企画の段階から実行に移りつゝある最中で、委員会の組織や会員の方々のお顔を覚えるのが精一杯なので、会員の皆様に変失礼やら迷惑をおかけしております。幸い、JIDの新会員名簿も出来上り、顔写真とお名前が載っていますので、地方の方々にもお会いしたような気持ちになります。また、事務局の伊藤さん、朝妻さんがベテランなので支えられながら、一日も早く仕事を覚え、伝統あるJIDの事務局長として一人立ち出来るよう、精一杯頑張りますので、今後共ご指導、ご鞭撻の程、宜敷くお願い申し上げます。

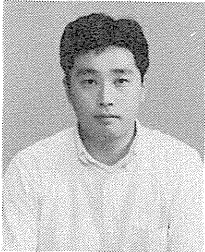
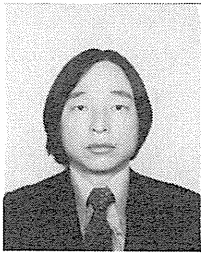
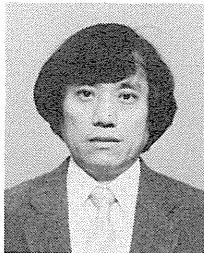
新入会員の紹介

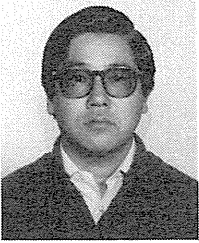
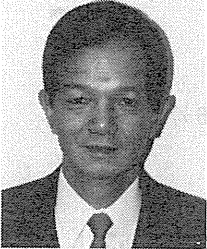
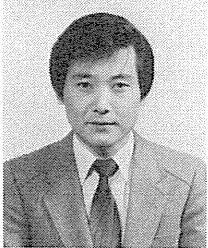
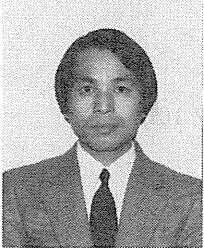
●新入会員

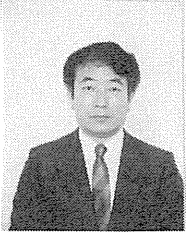
(正 会 員)

会員名及番号		住 所 及 電 話
いじゅういん たかし 伊集院 俊 (会員番号 760) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	デザイン キューブ 東京都渋谷区代々木2-23-1 ニューステイトメナー 613 〒151 TEL 03-370-4079 東京都町田市玉川学園1-12-25 〒194 TEL 0427-26-6471 中 村 圭 介 ・ 塩 田 一 夫
ば ば さとし 馬 場 敏 (会員番号 761) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	スタジオ・ナイト 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-3-16・801 〒151 TEL 03-402-8444 FAX 03-402-8479 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-3-16・801 〒151 TEL 03-402-8479 渡 辺 優 ・ 山 品 元
やす たけ まちこ 安 武 満智子 (会員番号 762) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)アスク プランニングセンター 建築デザイン研究室 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-14-10 アスク東京本社ビル 〒151 TEL 03-354-1181 FAX 03-359-8119 東京都練馬区中村北4-22-14-401 〒176 TEL 03-990-3432 嶋 佐知子 ・ 宮 嶋 恵美子
まえ はら のり お 前 原 紀 雄 (会員番号 763) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)オフィス マネジメント システム 東京都港区虎ノ門3-8-2 虎の門吾妻ビル2F 〒105 TEL 03-434-6451 (代) FAX 03-434-3625 千葉県船橋市田喜野井5-11-1 〒274 TEL 0474-63-4894 大 野 美代子 ・ 藤 村 盛 造

しもつうら かず こ 下津浦 和 子 (会員番号 764) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	トゥロワ パレット 神奈川県横浜市磯子区田中 1 丁目 12-16 〒235 TEL 045-774-2469 神奈川県横浜市磯子区田中 1 丁目 12-16 〒235 TEL 045-774-2469 嶋 佐知子 ・ 飯 田 公 久
まつ ばら あや こ 松 原 文 子 (会員番号 765) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	有限会社 バランス 本社 社 東京都目黒区目黒 4-4-5 アトリエ 東京都港区白金 4-1-1 〒108 TEL 03-447-7549 FAX 03-447-8654 東京都目黒区目黒 4-4-5 〒153 TEL 03-794-0404 川 上 信 二 ・ 岩 倉 栄 利
たか み のぼる 高 見 登 (会員番号 766) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 高島屋工作所 大阪市浪速区敷津東 1-1-25 〒556 TEL 06-644-4611 FAX 06-644-3711 大阪府堺市晴美台 2 丁目 31-5 〒590-01 TEL 0722-91-8926 三 上 英 夫 ・ 山 品 元
ない き えつ こ 内 記 悦 子 (会員番号 767) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 テルサ 日本海ガス 富山市黒崎 405-6 〒939 TEL 0764-25-2525 FAX 0764-91-4575 富山県射水郡小杉町中太閤山 8-46 〒939-03 TEL 0766-56-0384 下 島 資 子 ・ わたなべひろこ
きた むら よし ひこ 北 村 新比古 (会員番号 768) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 アルファ 福岡県北九州市小倉北区小文字 1-2-34 〒802 TEL 093-522-0644 FAX 093-521-7754 福岡県北九州市小倉北区熊本 3-14-8 〒802 TEL 093-951-1328 堤 久 夫 ・ 森 宣 雄

たか はし ひろ お 高 橋 紘 生 (会員番号 769) 	<勤務先・事務所> 有限会社 木工房 SHIN 埼玉県北葛飾郡吉川町関 100 〒343 TEL 0489-81-0167 FAX 0489-81-0167 (切替) <自 宅> 埼玉県春日部市牛島 9-2 〒344 TEL 048-738-1443 <推 薦 者> 長谷川 隆 之 ・ 宮 本 勝 康
なか じま しげ み 中 島 重 美 (会員番号 770) 	<勤務先・事務所> 株式会社 筑波産商 埼玉県川口市朝日 4-10-1 〒332 TEL 0482-23-6761 FAX 0482-25-0207 <自 宅> 埼玉県草加市瀬崎町 1342-12 〒340 TEL 0489-28-5160 <推 薦 者> 長谷川 隆 之 ・ 宮 本 勝 康
そ はら 蕎 原 しげみ (会員番号 771) 	<勤務先・事務所> 株式会社 パリオス インテリア事業部 東京都新宿区西新宿 7-18-5 〒160 TEL 03-366-7211 FAX 03-366-7215 <自 宅> 東京都杉並区本天沼 2-12-15 〒167 TEL 03-390-6932 <推 薦 者> 山 岸 証 史 ・ 久 志 宗 昭
はな だ まこと 花 田 眞 (会員番号 772) 	<勤務先・事務所> 株式会社 大丸 本社 (商品統括室 デザイン室) 大阪市中央区西心斎橋 1-4-5 御堂筋ビル 8 F 〒542 TEL 06-251-7548 (内 7-16-361) FAX 06-281-0647 <自 宅> 大阪市吹田市千里山西 6-63-14 シャトー和泉 505 号 〒565 TEL 06-338-5147 <推 薦 者> 川 崎 浩 ・ 安 永 一 典
くろ かわ しょう いち 黒 河 昭 一 (会員番号 773) 	<勤務先・事務所> 株式会社 アワード 徳島市福島 1-8-22 〒770 TEL 0886-25-3840 FAX 0886-25-3843 <自 宅> 徳島市新蔵町 1-60 ドウェル新蔵 〒770 TEL 0886-55-3436 <推 薦 者> 川 上 信 二 ・ 岩 澤 晴 彦

せ ぬま しげ ひろ 瀬 沼 茂 廣 (会員番号 774) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	桜木芸工業 株式会社 東京都品川区勝島 1-3-27 〒140 TEL 03-765-3333 FAX 03-765-3334 東京都品川区南大井 1-6-6 〒140 TEL 03-766-2285 FAX 03-766-2285 山 岸 柁 史 ・ わたなべひろこ
あら い ひろ ゆき 新 井 宏 佑 (会員番号 775) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 岡村製作所 インダストリアルデザイン部 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 〒100 TEL 03-593-5653 FAX 03-593-5693 千葉県松戸市新松戸 5-178 サンライト参-B-110 〒270 TEL 0473-45-1668 山 品 元 ・ 安 藤 孚
た さか はる お 田 阪 春 夫 (会員番号 776) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	川田木工 株式会社 北海道上川郡東神楽町東神楽 250 工業団地 〒071-15 TEL 0166-83-3421 (代) FAX 0166-83-3789 北海道旭川市東光 4 条 3 丁目 4-8 〒078 TEL 0166-33-5573 田 中 博 ・ 山 品 元
なか やま ひろ ふみ 中 山 博 文 (会員番号 777) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 リネアジャパン 東京都渋谷区神南 1-10-6 第一岩下ビル 3 階 〒150 TEL 03-463-7182 FAX 03-476-2398 神奈川県横浜市緑区長津田町 3016-1-1919 〒227 TEL 045-984-0528 福 田 友 美 ・ 岩 倉 榮 利
こもりや ゆき こ 小森谷 幸 子 (会員番号 778) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	西武百貨店 池袋店 家具部コーディネートスタジオ 東京都豊島区南池袋 1-28-1 〒171 TEL 03-981-0111 (内 2529) 東京都江東区白河 1-3-13-305 〒135 TEL 03-641-7943 嶋 佐知子 ・ 宮 嶋 恵美子

いま い そう いち 今 井 壮 一 (会員番号 779) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	有限会社 アーレン・プランニング研究所 東京都渋谷区神宮前 2-33-16-201 〒150 TEL 03-5474-5421 FAX 03-5474-5422 東京都町田市山崎町 1380 I-1004 〒194-01 TEL 0427-93-4923 大 野 美代子 ・ 長 岡 貞 夫
ね もと けい じ 根 本 恵 司 (会員番号 780) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	株式会社 根本恵司設計事務所 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-13-6 カサ・デ・ツナ 2 F 〒151 TEL 03-470-6368 FAX 03-470-1534 東京都渋谷区笹塚 2-12-11 ツル・ハイム 606 号 〒151 TEL 03-320-9396 泉 修 二 ・ 田 中 聰 行

(準 会 員)

会員名及番号		住 所 及 電 話
こふな や ゆう こ 小船谷 裕 子 (会員番号 B-163) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	積水ハウス(株) 名古屋西営業所 名古屋市中村区名鉄 3 丁目 16-22 名古屋ダイヤモンドビル 2 F 〒450 TEL 052-582-3401 (内線 332) FAX 052-563-5562 名古屋市中村区上石川町 2-11-10 久野ハイツ 101 号 〒453 TEL 052-411-5291 林 寅 正
か さい きみ こ 葛 西 紀巳子 (会員番号 B-164) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	嶋住環境設計(株) 練馬区豊玉北 5-16-7 サンライズ豊玉 3-E 〒176 TEL 03-948-9787 FAX 03-948-9725 葛飾区青戸 4-4-9 〒125 TEL 03-602-0690 嶋 佐知子

(賛助会員)

会 員 名		住 所 , 電 話 及 ご 担 当 者
刈谷木材工業株式会社	住 所	愛知県知多郡東浦町大字緒川字新田40-3 〒470-21 TEL 0562-83-4111 FAX 0562-83-8633
	担 当 者	安 藤 恵 基 カリモク家具販売(株)東京ショールーム 総合研究室主任 神奈川県横浜市鶴見区小野町41-1 〒230 TEL 045-511-2071 FAX 045-511-2073
	紹 介 者	山 本 其 観 代

●会員の異動

(正 会 員)

会 員 名	異 動 事 項	新
大 槻 圭 子 (関西 P 187)	自 宅 住 所	兵庫県芦屋市岩園町4-23 〒659 TEL 0797-32-2158
梶 高 樹 (関東 P73)	勤 務 先	加藤木材 株式会社 東京都目黒区下目黒1-2-22 セザール目黒510 〒153 TEL 03-491-0698 FAX 03-495-4625
早 川 昌 直 (中部 P 260)	部 署 変 更	建材部 建材開発課
窪 田 緑 (関東 P83)	事 務 所 移 転	東京都杉並区今川2-24-1 カリフル今川3-310 〒167 TEL (FAX) 03-397-0838 (変更なし)
福 森 文 雄 (関西 P 207)	勤 務 先	平山家具株式会社 装工部 課長 営業所 大阪市住吉区南住吉4-5-8 〒558 TEL 06-694-7111~5 FAX 06-694-1556 本社工場 大阪市西成区天下茶屋2-6-11 TEL 06-661-6236~7 FAX 06-661-1333

(正 会 員)

会 員 名	異 動 事 項	新
野 原 建 広 (関東 P 121)	勤 務 先 住 所 変 更	東京都渋谷区代々木 3-25-5 大東京火災新宿ビル 3 階 〒151 TEL 03-320-3941 FAX 03-320-3568
内 田 次 彦 (関東 P60)	事 務 所 移 転	東京都江東区木場 2-18-11 大丸コアビル 〒135 03-820-7038 (ダイヤルイン)
滝 本 英 男 (関東 P 165)	勤 務 先 変 更	女子美術大学 芸術学部 産業デザイン科 工芸専攻 東京都杉並区和田 1-49-8 〒166 TEL 03-382-2271 (代)
山 腰 実 (中部 P 258)	勤 務 先	退 職
長 嶋 千江子 (関東 P 118)	勤 務 先	退 職

(賛 助 会 員)

会 員 名	異 動 事 項	新
鹿島建設株式会社 (賛助 P 290)	事 務 室 移 転	東京都港区赤坂 6-5-30 ケ・アイ K I ビル 〒107 03-5561-2111 (大代表)

事務局短信

- ① 桜花清明の季節が過ぎ、事務局の窓外も、緑風さわやかな光景に一変しました。しかし、北海道の会員は桜もこれからでしょう。日本列島も広いです。
- ② 事務局では現在、現・新事務局長の事務引継ぎと並行して 5 月 26 日 (金) 開催予定の総会に向け、多忙を極めています。
- ③ 「総会議案書」はおおよそ 5 月 13 日前後にお手元に届くと思います。ご多忙でしょうがどうぞ内容ごらんの上、積極的にご出席の予定をおたて下さい。
- ④ 例年のように、「文芸美術国民健康保険」案内を載せました。保険料は、ここ 5 年据置きです。日本グラフィックデザイナー協会のように、多数会員が加入し

ているところもあります。ご存知のように、この健保は、J I D 会員でなければ (個人的には) 加入できない団体健保です。一般の国保で済ませている方は、一度ご検討の価値はあると思います。資料は事務局まで。
(03-403-3649 伊藤)

⑤ 昭和63年度会費未納の方へ

監督官庁の指導もあり「公益法人会計基準」の完全実施の線で、事務改善を進めています。未納者の抽出もより明確に行えるようになり、総会をはじめ理事会等への報告をスピーディに処理します。当該会員各位の納入へのご理解とご協力をお願いする次第です。

- ⑥ 期末・期初は「J I D NEWS」の発行がどうしても遅れます。本号もご迷惑をおかけしました。尚、残念ながら 1～3 月号は欠号となりました。お詫びい

たします。

- ⑦ 「J I D NEWS」もこの4・5月合併号で通巻155号になりました。顧みれば1978年6月号（通巻82号）より数え、約70回私こと山品元が発行を担当して参りました。その間、機関誌や臨時号等が発行の折は一寸、ひと息つきましたが、いつも継続発行には神経が休まりませんでした。本号を以って、その任から解放されることを思うと、正直、ほっとしております。
- ⑧ 11年間は、長いようでもあり、短いようでもあります。その間、誤植や印刷ミスなどで、ご迷惑をおかけした例もありました。担当責任者として、重ねて深

くお詫びしたいと存じます。どうぞ、ご放念いただければ、私も気が楽になります。よろしくお願いいたします。

- ⑨ 本当にご精読ありがとうございました。今後は会員の一人として、新事務局長野村さんを応援したいと考えております。皆様もどうぞ、野村禮七郎さんにエールを送って下さいますように。では、ごきげんよう。再見。

（事務局 山品）

賛助会員ディレクトリー（抜粋）

（株）ア イ テ ィ ー オ ー 東京都大田区平和島6-1-1 〒143 東京流通センターB棟5F 私書箱121 (03)767-3000 太田省三（企画室長）	（株）青 島 商 店 東京都港区芝大門1-1-11 〒105 (03)431-4933・432-2032 青島賢治（代表取締役社長）
（株）ア ト リ エ ・ エ イ テ ィ エ イ ト 東京都港区北青山2-11-10 〒107 青山野末ビル201号 (03)404-6288 宮地祐輔	（株）アルフレックスジャパン 東京都渋谷区東2-9-8 〒150 (03)406-8755 柏木 章（商品部マネジャー）
（株）イ ト ー キ 東京本社：東京都中央区銀座3-7-3 〒104 オーミビル (03)566-5328 天野 明（デザイン本部本部長）	（株）I N A X 愛知県常滑市江本町3-6 〒479 (05693) 家坂 隆（デザイン部部長） 5-2700（代） 和田高明（デザイン第1課長）
イ ビ デ ン （株） 大垣市神田町2-1 〒503 (0584)81-3111（代）塩田康光（建材営業部部長）	（株）イ ヨ ベ 工 芸 社 東京都江東区千田23-13 〒135 (03) 五百部喜作（代表取締役） 647-2734（代）河本 東（社長付開発係係長）
（株）イ ン テ リ ア セ ン タ ー 旭川市永山町6 〒079 (0166)47-1188 長原 実（代表取締役社長）	（専）インテリアセンタースクール 東京都目黒区碑文谷5-15-1 〒152 (03)710-6911 柄澤立子（理事長）

(株) 内 田 洋 行 東京都中央区新川 2-9-9 新川第 3 別館 6 F 〒104 オフィスデザイン研究所 (03)555-4493 近藤明夫 (研究所所長)	学校法人 上 田 学 園 大阪総合デザイン専門学校 大阪市北区芝田 2-8-25 〒530 (06)376-2100 廣瀬真嗣 (副校長, インテリアデザイン学部主任)
(株) 岡 村 製 作 所 東京都千代田区永田町 2-14-2 〒100 山王グランドビル (03)593-5653 安藤 孚 (インタストリアルデザイン部管理担当)	三 菱 電 機 オ ス ラ ム (株) 横浜市西区北幸 2-8-29 〒220 東武横浜第 3 ビル 4 F (045)323-5111 (代) 根本幸雄 (商品企画部次長)
鹿 島 建 設 (株) 建築設計本部 インテリアデザイン部 東京都港区赤坂 6-5-30 ケーアイ K I ビル 〒107 (03)5561-2111 (大代表) 鈴木高道 (インテリアデザイン部長)	(株) カ ワ キ チ 東京都新宿区西新宿 7-5-20 〒160 営業開発部 (03)366-7865 川合二郎 (営業開発部課長)
(株) 川 島 織 物 インテリア東京営業本部 東京都千代田区永田町 2-14 〒100 山王グランドビル 5 F (03)580-4511 衣川雄二 (販売企画課副部長)	カルテル・ジャパン (株) 東京都港区六本木 5-18-18 〒106 同和ビル 4 F (03)582-1469 ティエリ・コーヘン (営業部長)
(株) 観 光 企 画 設 計 社 東京都港区愛宕 1-2-2 〒105 第 9 森ビル (03)434-4671 本杉勝彦	共 同 通 信 工 業 (株) 東京都千代田区内神田 2-16-13 〒101 神田ビル (03)254-1261 栗真宜雄 (代表取締役)
(株) く ろ が ね 工 作 所 東京都港区芝 5-29-20 (三田ビル) 〒108 (03)455-4311 米山俊行 (オフィスシステム課係長)	コ ク ヨ (株) 意匠設計部 大阪市東成区大今里南 6-1-1 〒537 (06)976-1221 清家淳一 (意匠設計部部付部長)
コ ク ヨ (株) 東京意匠設計部 東京都港区港南 1-8-35 〒108 (03)450-5111 田中兵衛 (東京設計部部付部長)	(株) コ ス ガ 東京都中央区東日本橋 2-15-4 〒103 (03)862-6711 亀井恒男 (コスガデザイン部) (03)893-1186

JID NEWS

1989 / 4 ・ 5

頒価 300 円 (送料共)

平成元年 4 月 25 日 発行

(日本インテリアデザイナー協会月報 1989 年通巻第 155 号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会事務局

印刷所・(社) コロニー印刷

振 替・東京 8-76389